

# 国営環境保全型かんがい排水事業 写真集

## ようすいしせつ ようすいろ ○用水施設(用水路)



用水路の漏水状況

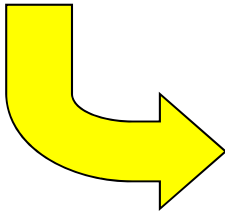


※地域では、老朽化した石綿セメント管が基幹的用水路として使用されています。

この地域の用水施設は、肥培かんがい用水として利用される他、生活用水や家畜用水として利用され、地域を維持するための重要なライフラインとなっています。



用水路の整備



## ※肥培かんがいシステムの導入



※肥培かんがいシステムは、家畜ふん尿に水と空気を混入し、良質な有機質肥料(スラリー)を、効率的に農地に還元するシステムです。



タンカーへ積込



スラリーの散布

タンカーの移動距離が長い場所には、農地までパイプを整備し、スラリーを送ります。





ようすいしせつ ひばい しせつ  
○用水施設(肥培かんがい施設)



整備前

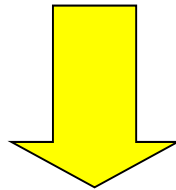
【老朽化したスラリーストアー】



整備前

【容量不足の堆肥盤】

※老朽化施設の解消  
※容量不足の解消



※肥培かんがい施設を整備することで、既存施設の老朽化や容量不足を解消します。



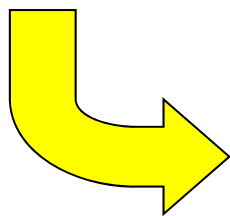
整備後

※良質なスラリーを効率的に農地に還元することにより、牧草の収量増加、品質向上、購入肥料の削減など経営コストが節減されます。

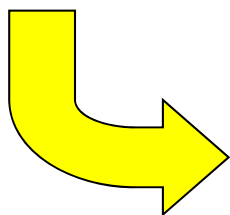
ようすいしせつ ひばい しせつ  
○用水施設(肥培かんがい施設)



※肥培かんがい施設を整備することで、畜舎周辺の環境が改善されます。



※畜舎周辺環境の改善



※畜舎周辺環境の改善

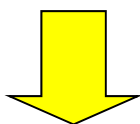




じょうかがたはいすいろ はいすいろ  
○浄化型排水路(排水路)



整備前



※排水路の改修による排水被害の軽減



整備後

※排水路を整備することで、洪水時の作物被害が少なくなり、また、降雨後の農地の地下水も早く低下し、通気性等が改善され牧草の収量が増加します。



整備後



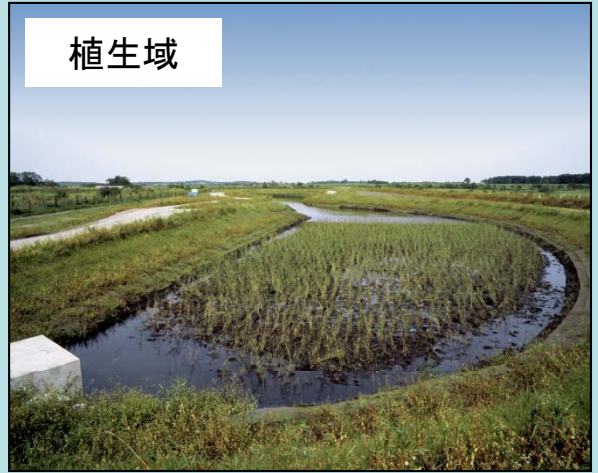
じょうかがたはいすいろ ゆうすいち

## ○浄化型排水路(遊水池)

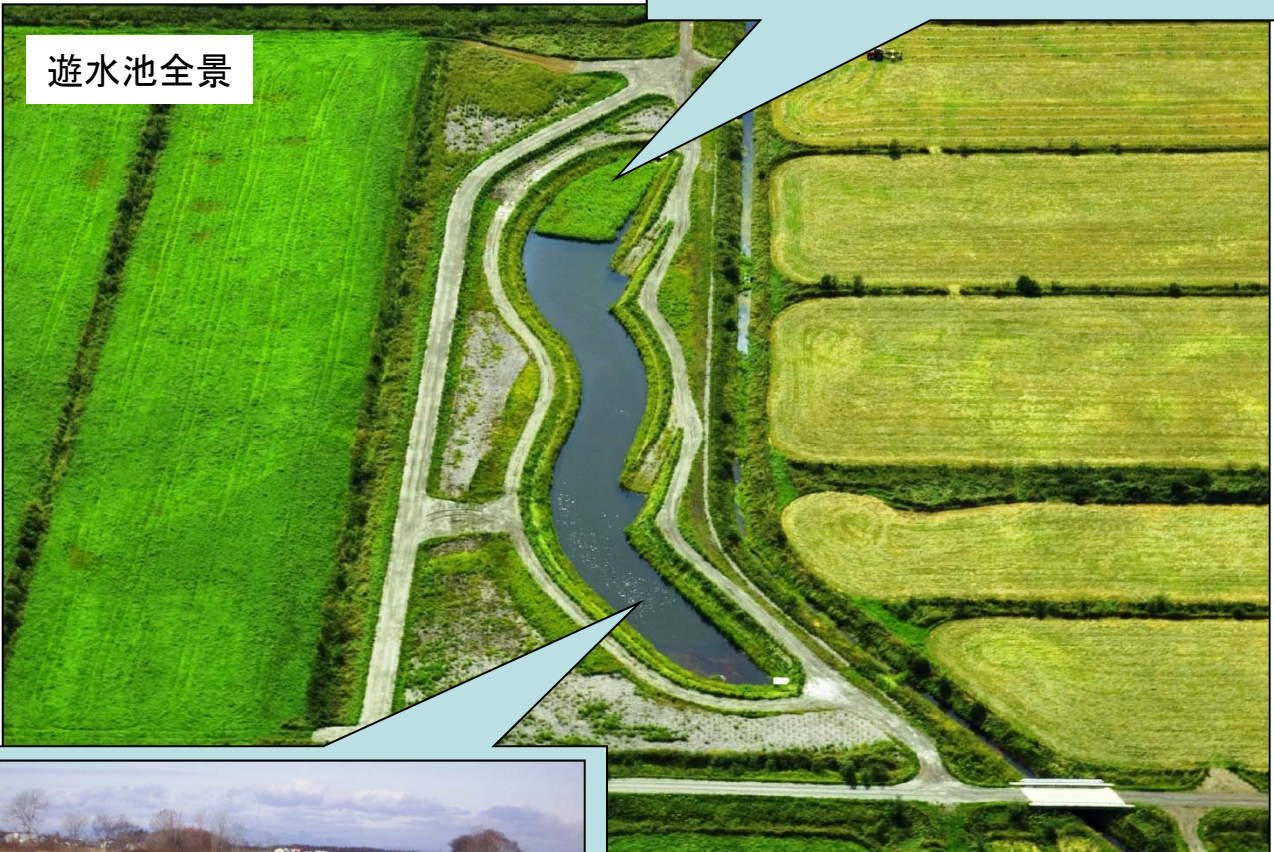
※遊水池は、排水本川と合流する幹線排水路に設置し、排水路に流入した土砂及び水質汚濁物質を除去します。

また、遊水池構造は、土砂を沈降させる沈砂域と水生植物による水質汚濁物質の吸収を行う植生域で構成されています。

植生域



遊水池全景



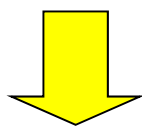
沈砂域



新たな水辺空間ができたことにより、水鳥などの生息域が拡大しています。



じょうかがたはいすいろ はいすいちょうせいち  
○浄化型排水路(排水調整池)



※排水調整池は、支線排水路の上流端に設置する幅広水路状の沈砂池で、排水路への土砂流入を防止し、排水路の機能保全を図るとともに、窒素・リン等の水質汚濁物質を除去する施設です。



じょうかがたはいすいろ どしや しりん  
○浄化型排水路(土砂かん止林)

植栽1年目(H15年撮影)



※土砂かん止林は、排水路の両岸に植樹することで、法崩れや土砂流入等を抑制し、排水路の機能保全と、農用地等から流出する水質汚濁物質を吸収し、水路の水質浄化を行います。

植栽6年目(H20年撮影)



植栽10年目(H24年撮影)



※樹種は、地域に自生しているドロノキ、アカエゾマツ、ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ等を選定しています。



じょうかがたはいすいろ すいしつかいぜん  
○浄化型排水路(水質改善)



河川水質の改善



●河川水質の改善で鮭の遡上やバイカモの植生が見られる様になった。



鮭の遡上



バイカモの植性  
西別川  
(憩い橋)